

## 銚岳・比叡山～大長征・ニードル左岩稜～

【報 告 者】 I

【日 時】 2016年4月9・10日                      【天 候】 曇り・雨

【参 加 者】 S、E、I

### 《コースタイム》

4/9 10:15 鹿川キャンプ場駐車場→10:45 大長征取り付き、11:00 クライミング開始→13:15 中央バンドテラス、休憩、13:30 再開→15:30 山頂→16:30 駐車場。

4/10 9:30 ニードル取り付き→10:10 1P 終了→10:30 2P 終了→11:00 ニードルのピーク、11:10 下降開始→11:50 雨天のため一時下山→12:00 ボルダー（眠れる森エリア）→14:45 晴れたためマルチ再開（サマーホリディ 83 ルート）→16:00 1P 終了→16:45 2P 終了→17:30 3P 終了、下降開始→18:00 下降完了。

### 《 報 告 》

銚岳は比叡山の前の道を鹿川沿いに、さらに遡った所にある。取り付きで見た銚岳は巨大な岩の塊だった。大長征ルートは美しいトラバースルートと大滝左ルートを連結したコースのことである。最初はフォローで快適に登らせてもらったが、P5の35mトラバースでは、あまりの高度感に足が出なくなってしまった。チラとSさんを見ると、冷静にロープの張り具合を調節している。トラバースでは、ぐいぐいロープを引くとクライマーがバランスを崩してしまうからだ。それを見て自分も少し冷静になり、次の一步を踏み出すことができた。しかし、今回のハイライトは最終ピッチのインディアンチムニーだ。ほとんど登る人がおらず、古いリングボルトがいくつか打ってあるだけで、カムなしでは登ることができない。最初は広くてジャムが使えず小さなホールドを拾うしかないが、上に行くにつれてジャムが使いやすくなる。Sさん、ナイスクライミングでした！自分の反省点はビレイの時に何度もロープを絡ませてしまったことだ。もっと安定してビレイできるように練習しなければならない。

夜は鹿川キャンプ場泊。合流したEくんとその友人2人と一緒に、たき火を囲んで宴会をした。こんなに楽しいクライミングってあるんだなあと思った。

次の日はニードルに取り付いた。Eくんがオールリード。ダブルフレイクではなく、その右からスタートした。Eくんの技術なら問題はないようだった。3人で快調に登り、ニードルの頭で記念撮影。懸垂下降し、サマーホリディ 83に取り付いた所で雨が降ってきたので、軽くお茶がてらボルダーへ。適当にボルダーし、まったりしていると雨が上がったので、サマーホリディの取り付きに戻り、クライミングを再開。2Pに少しハングした核心部があったけれど、僕はボルトを踏んでなんとかクリア。やっぱり、SさんとEくんはうまいなあ。あと、Eくんは体力あり過ぎです。